

12. 自然環境や地域住民の生活に対する配慮

希少植物の移植

右岸作業ヤード区域に生息していた希少植物（ミヤマウスラ、アケボノシュスラン）を、施工前に工事の影響が及ばない箇所へ移植することで、自然環境の保全を図りました。



移植作業の様子



濁水対策

工事中に発生する濁りが大源太湖に拡散したり、下流に流出することがないように、工事範囲を2重の汚濁防止ネットで囲んでいます。また、作業中は常時、水質（濁度）の監視を行い、基準値に達した時には、濁りが収まるまで作業を中止しました。



汚濁防止ネット設置状況



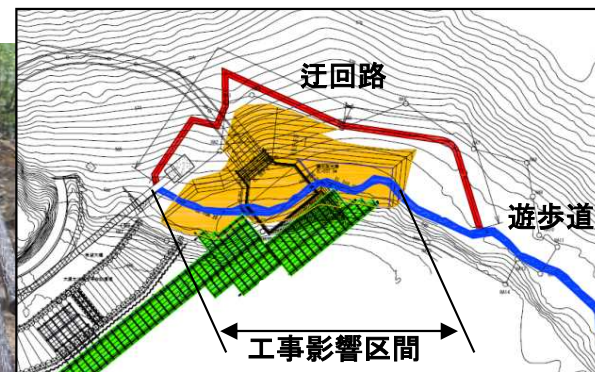
電子掲示板

濁度の他、気温や風速などを表示

遊歩道の迂回路設置

工事期間中も散策ができるように、工事区域内にあった散策路に対して代替の迂回路を設けました。

新たに設置された代替の迂回路



騒音・振動対策

工事にあたっては、騒音や振動が発生しづらい建設機械を使用しています。また、工事中に発生する騒音や振動を常に監視し、基準値以上の騒音が発生することのないよう注意しながら工事を進めました。



騒音や振動の監視状況



騒音対策型の機械

